

2023年7月18日

一般社団法人 日本船主協会

## 愛知県大府市にて楽しみながら船や海を学べるイベントを開催 ～昨年に続き絵本作家とのコラボレーション企画～

当協会では、日本の暮らしと産業を支える海運をはじめとする海事産業の重要性や魅力を広く一般の皆様にご覧いただくための広報活動を全国各地で開催しております。

今般、7月15日（土）にリソラ大府ショッピングテラス（愛知県大府市）にて、空とぶ出版主催のもと、（一財）海技振興センター、日本水先人会連合会、日本内航海運組合総連合会、（公財）日本海事広報協会と協力し、絵本作家とのコラボレーション企画として船や海について楽しみながら学べるイベントを開催しましたので、その模様をお知らせします。昨年に続きの実施となり、当日は親子を中心に多くの方が来場しました。

会場内には、当協会が実施している海運 PR 「“開運”じゃなくて、“海運”です。」の動画の放映やポスターを掲示。また、10日より開始した海の日 Twitter キャンペーンと連動した「海運ミニ袋」プレゼント企画も実施するとともに、絵本「うみのパイロットさん」\*の作家、はしももかさんとの



海と船の塗り絵コーナーも設置されるなど、子どもたちに、海運の魅力を伝えることができました。特に、子どもたちが塗り絵作品を鮮やかな色を使い嬉々として作り上げていく姿が印象的でした。その他、イベントにご参加いただいた方には海運など紹介するノート等の各種グッズをプレゼントしました。

子どもたちのみならず、参加していた保護者からも、「昨年も参加して今年も開催されることを楽しみにしていた」「海運ミニ袋が欲しかったので楽しみにしていた」などの感想が寄せられ、海運に対する興味が深まった結果、各ご家庭の中でも海運の話題が上るようになることを期待しております。



当協会は、同県豊橋市にて川崎汽船並びに日本海事広報協会が長年実施する商船見学会や出前授業に資料提供等を通じてこれまで協力するなど、同県内の海事産業の周知に努めております。今回は 2 度目の絵本作家とのコラボレーションとなりましたが、海事関連諸団体とともに海事クラスター一体となり、今後もより多くの皆様に海事産業の重要性の周知・普及に注力してまいります。

※「うみのパイロットさん」（日本水先人会連合会と海技振興センターの共同制作）は、主人公「マルクン」が「パイロットさん」の助けを借りて、広い海を渡り遠くの島までの航海に挑戦する様子を通じて、水先人の仕事（内容、重要性等）を親しみやすく、シリーズ形式で紹介した絵本です。国内の学校のみならず、海外の日本人学校でも読み聞かせが行われるなど、これまで 3 作品が発行されており、9 月頃には第 4 弾が発行される予定です。



以上